

市民フォーラム21 第3回 教育・文化部会 次第

日時；平成22年11月10日（水）午前9時30分～

場所；第1庁舎8階 第1委員会室

1 開 会

2 市民フォーラム21 第2回 教育・文化部会 会議概要について 別途送付資料

3 ワークショップのまとめについて 資料1

4 本日の日程等について 資料2

5 ワークショップ

テーマ1：政策4-3 ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承

テーマ2：政策4-4 躍動する生涯スポーツの振興と競技力の向上

6 その他

(1) 今後の予定について

(2) 事前課題シートについて（11月24日開催） 資料3

テーマ1：政策4-1 次世代を担う人材の育成と環境の整備

テーマ2：政策4-2 豊かに学びあう社会の形成

7 閉 会

<資料>

資料1；ワークショップまとめ（案）

政策「4-5 地域から広がる国際交流の推進」

資料2；市民フォーラム21 教育・文化部会 ワークショップ開催日程及び参加者

資料3；事前課題シート（11月24日開催）

次回の予定

日 時：平成22年11月24日（水） 9:30～11:30

会 場：市役所第2庁舎10階会議室18

持ち物：事前課題シート（4-1次世代を担う人材の育成と環境の整備、4-2豊かに学びあう社会の形成）、第四次長野市総合計画、第四次長野市総合計画 前期基本計画の現況と課題、これまでに配布した資料

市民フォーラム21 第2回教育・文化部会 ワークショップまとめ(案)

日時	平成22年10月20日(水)午前9時30分	会場	長野市役所会議室19
政策	地域から広がる国際交流の推進		
4-5			

※分類の記号

W: ワークショップで検討された意見

K: 欠席者又は審議会委員(他作業部会所属)の意見

作業部会意見・まとめ(案)

行No.	大項目	分類
	項目	
1	子どもたちの交流	W
2	一校一國運動が継続実施されている。	W
3	一校一國運動について、各学校の方針で行われている。	W
4	一校一國運動の活動する学校、児童、先生に限られる。	W
5	一校一國運動の活動について、教員が多忙で時間の確保が難しい。	W
6	一校一國運動に関する学校間の情報交換が欲しい。	W
7	一校一國運動について、メールや手紙での交流がある。	W
8	一校一國運動により、相手国の情報が入手できる。	W
9	一校一國運動交流予算が単年度不足した。	W
10	一校一國運動における経費負担が大きい。	W
11	一校一國運動について、小学校区単位で住民自治協議会の支援を受ける。	W
12	一校一國運動について、地域としてバックアップするには違い(限界)がある。	W
13	小中学生の国際交流には、スポーツや宿泊を伴う「あそび体験」が効果的である。	K
14	小・中・高・大学など各ステージに応じたスポーツ、演奏会、野外活動などの交流をする	K
15	歴史・文化などを紹介する「ブラジルバス」などを作り、小中学校に派遣する。	K
16	民間レベルで外国のアーティストを小学校に招いて一流の演奏を聞かせる。	W
17	平成の咸臨丸のような事業を取り入れる。	W
18	国際化教育推進活動補助金が確保されている。	W
19	子どもたちの国際交流基金がある。	W
20	子どもたちの国際教育のための倉石忠雄基金がある。	W

一校一國運動の継続と活性化

一校一國運動の情報交換や地域の支援

あそび、スポーツ及び文化芸術等を活用した国際交流

世界で活躍できる子どもたちの育成

国際理解教育を進めるための財源の確保

行No.	大項目	分類
	項目	
21	外国人との交流	W
22	多文化共生の意味は、外国籍の人も安心して住める社会のことである。	K
23	多文化共生講座を開催し、市民の外国や外国人に対する意識を高める。	K
24	各地区(多少まとめて)で「外国人市民会議」を開催する。	W
25	市内在住の外国人を公民館活動の講師として招く。	W
26	もんぜんぷら座3階に国際交流コーナーが開設されている。	K
27	国際交流事業が行われている。	K
28	国際交流団体等が行う交流事業に補助金制度がある。	K
29	国際交流団体がどのような組織か認知が少ない。	K
30	外国人との交流の場や機会が少ない。	W
31	市民と外国籍市民の交流機会を提供している。	K
32	外国人との交流会の広報が不十分で、情報が得にくい。	K
33	様々な媒体を使って、国際交流情報を発信する。	K
34	市民は外国人との交流をどの程度望んでいるのかわからない。	W
35	県内の外国籍市民の国に出向いて、異文化を紹介する。	K
36	ホームステイなどの交流が少ない。	W
37	ホームステイの受け入れを積極的に行う。	K
38	ホームステイが行われている。	K
39	ホストファミリーになりたいが情報がない。	W
40	ホストファミリーを増やす。	K
41	ホームステイとホストファミリーのマッチングシステム(組織・料金など)を整備する。	K
42	留学生の受け入れを支援する。	K
43	留学生の受け入れについて、支援が不足している。	W
44	留学生の受け入れなど、人的交流の大切さの理解が不足している。	W
45	留学生(高等教育機関)のネットワークづくりが不足している。	W
46	国籍が多岐にわたり、様々な言語指導員が確保できない。	W
47	外国人居住者の受け入れが不十分である。	W
48	市内に暮らす外国人の支援の方法を考える。	W
49	外国人の生活支援の部分が不足している。	K
50	市民が市内に暮らす外国人を支える関係を作る。	K
51	教育、医療や福祉など専門分野の通訳が不足し、不安を抱えたまま生活している	K
52	外国人の健診が民間の善意で実施されており、行政の支援が必要である。	K
53	外国人の子どもたちの学校生活を支援する。	W
54	外国人の子どもたちの保護者へのケアが十分でない。	W

作業部会意見・まとめ(案)

国際交流事業の開催、その理解と普及

国際交流情報の発信

ホームステイや地域に住む外国人との交流機会の提供

外国人受け入れ体制の整備

外国人(子どもたち)の支援

行No.	大項目	分類
	項目	
55	外国にいる日本人との交流	W
56	首都圏在住のふるさと長野応援団があるので、海外在住者の応援団を作る。	W
57	海外に出る研究者や学生が減っている。	W
58	姉妹都市・友好都市交流	W
59	友好都市・姉妹都市交流が継続実施されている。	W
60	クリアウォーター市や石家庄市との交流をもっと活発にする。	W
61	クリアウォーター市と石家庄市との中高生の交流が継続しているのは良い。	W
62	自国の歴史・文化・教育がよくなされているのか。	W
63	子どもが良くなるためには、その親をフォローすることが必要である。	W
64	姉妹都市・友好都市を(費用負担がかからない工夫しながら)増やしてはどうか。	W
65	姉妹都市・友好都市と市民レベルの交流を図る。	W
66	国際親善クラブの将来への展望が見えない。	W
67	スポーツ・イベント	W
68	冬季オリンピック開催で世界に知られている。	W
69	オリンピック、パラリンピックで発信したNAGANOブランド力が低下している。	W
70	冬季スポーツの国際大会が開催されている。	W
71	冬季スポーツ以外の国際大会が少ない。	W
72	国際的に活躍するスポーツ選手が長野市から輩出されていない。	W
73	長野市には、国際的に知られたスポーツがない。	W
74	観光(施設)、スポーツ及び文化・芸術の組み合わせで何かできないか。	W
75	国際大会の文化・イベントとして青少年との交流を図る。	W
76	国際的なイベントへの市民参加の機会を増やす。(例:スポーツ大会のレセプション)	W
77	国際会議や観光で訪れた外国人との市民の交流の機会がほとんどない。	K
78	国際大会の誘致には、大会運営費の補助が必要である。	W
79	国際大会など、大きな大会・イベントを開催するためには、資金調達が課題である	W
80	長野オリンピックを契機に国際交流が進んだ。	W
81	スポーツ交流を通じて外国人と親しくなる。	W
82	長野市主催の国際的展覧会やイベントが少ない。	W
83	国際的なイベントの招致を積極的に進めている。	K
84	ウインタースポーツ以外の国際大会が少ない。	W
85	長野五輪記念マラソン大会への海外一般参加者が増加している。	K
86	長野五輪記念マラソンに国際交流のイベントがない。	K

作業部会意見・まとめ(案)

- 世界で活躍する長野人に学ぶ
- 世界で活躍する長野人の支援
- 姉妹都市・友好都市との交流
- 市民レベルの交流
- 冬季五輪を開催したNAGANOブランドの活用
- 世界で活躍するスポーツ選手の育成
- 市民参加による国際大会・イベントの開催

行No.	大項目	分類
	項目	
87	外国人へのインフォメーション・サービス	W
88	外国語が話せない。聞き取れない。	W
89	近隣諸国からの観光客を誘客する。	W
90	外国人観光客の誘致を盛んに進めている。	K
91	外国人が住みやすい町は、観光にも訪れやすいまちである。	K
92	長野には国際的にアピールする観光資源がある。	K
93	駅前に名物のはずの蕎麦屋が少なく、おもてなしに困る。	W
94	飲食店のメニューに英語表記が必要である。	W
95	外国の方にも理解できるサインシステムの構築が必要である。	W
96	案内板を整備する。	W
97	英語など外国語の案内が街中に整備されていない。	K
98	大学や学生を活用して、案内整備を進める。	K
99	外国語版生活情報誌の改訂があった。	K
100	専門相談員が設置された。	K
101	外国人に施設が使用しにくい。	W
102	安価で利用できる外国人専用の宿泊施設(市有施設)がない。	K
103	文化	W
104	オリンピックイベント(商店街等の開催)が少々マンネリ化している。	W
105	オリンピック開催の町として、それをどう生かして特色を出すのか不明確である。	W
106	県民文化会館とウィーン楽友協会が姉妹提携して20年以上の交流がある。	W
107	ウィーン楽友協会は毎年来長し、音楽セミナーや演奏会を開催している。	W
108	ウィーン楽友協会の善光寺(文化財とのコラボ)での演奏は大好評である。	W
109	若手芸術家が海外に羽ばたく活動を援助する。	W
110	芸術文化を通して言語を超越し、異文化の橋渡しをする。	W
111	外国人と文化財に関する交流が少ない。	W
112	海外では芸術文化、アーティストが公務員として存在している。	W
113	市民の意識や誇り	W
114	地元の強みや特長を再認識する。	W
115	長野は資産が多すぎてまとまらない。絞りきれない。	W
116	地元にある誇れる物の理解が不足している。	W
117	長野の市民性はものしずか、おくゆかしい	W

作業部会意見・まとめ(案)

外国人向けのインフォメーション・サービスの提供

外国人が訪れて楽しいまち

文化・芸術をいかす国際交流

長野の良さの理解とNAGANO誇れる意識の醸成

市民フォーラム21 教育・文化部会 ワークショップ開催日程及び参加者

資料2

	日 時 会 場	テーマ:政策	長野市総合計画審議会 作業部会(市民フォーラム21) (敬称略)							長野市総合調整会議 第四部会(教育・文化分野関係)													
			石塚 弘登	小泉 真理	藤沢 謙一郎	山岸 恵子	内山 了治	毛涯 伸	轟 繁満	宮澤 俊弘	宮澤 博	山崎 弘道	庶務 課長	秘書 課長	障害 福祉 課長	保育 家庭 支援 課長	観光 課長	総務 課長	学校 教育 課長	保健 給食 課長	生涯 学習 課長	文化 財課 長	体育 課長
第2回	10月20日(水)9:30~11:30 第2庁舎10階会議室19	テーマ1:地域から広がる国際交流の推進	A		A	B		A	B	A	B	B		A		A	A	B		B		B	
第3回	11月10日(水)9:30~11:30	テーマ2:躍動する生涯スポーツの振興と競技力の向上	○		○		○			○		○		○	○								○
	第1庁舎8階第1委員会室	テーマ3:ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の継承		○		○		○	○		○		○				○			○	○		○
第4回	11月24日(水)9:30~11:30	テーマ4:次世代を担う人材の育成と環境の整備	○				○		○	○		○			○		○	○	○				
	第2庁舎10階会議室18	テーマ5:豊かに学びあう社会の形成		○	○	○		○				○				○					○	○	

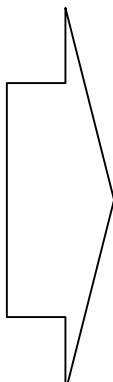
第四次長野市総合計画後期基本計画ワークショップ【事前課題シート】

部会名 教育・文化部会
 開催日 2010/11/24 9:30
 会場 第2庁舎10階 会議室18

政策	4-1 次世代を担う人材の育成と環境の整備
----	-----------------------

基本施策		アンケート指標
4-1-1	魅力ある教育の推進	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている。
4-1-2	家庭・学校・地域の連携による教育力の向上	地域ぐるみで子どもたちを育てていく環境がある。

満足していること	不満に思うこと	不満を解消するための提案(解決策)



第四次長野市総合計画後期基本計画ワークショップ【事前課題シート】

部会名 教育・文化部会
開催日 2010/11/24 9:30
会場 第2庁舎10階 会議室18

政策 4-2 豊かに学びあう社会の形成

基本施策		アンケート指標
4 1 1	活力ある地域を創る生涯学習の推進	文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学ぶことができる環境が整っている。

満足していること	不満に思うこと	不満を解消するための提案(解決策)